

優良事例から学ぶ！「総合防除」視察研修会を実施 ～ 百聞は一見に如かず ～

長生農業事務所改良普及課 令和7年11月11日発

長生地域ではトマトが盛んに栽培されていますが、微小害虫が媒介するウイルス病の発生が続いている。その被害を防ぐためには、ハウスの開口部に防虫ネットを張ること、栽培終了後に作物を適切に処分することや定期的な薬剤散布などを「総合的」に行うことが重要です。

そこで、10月28日にJA長生施設野菜部会の有志3名・富津市の生産者1名・JA長生・県関係者が集まり、「総合防除」に取り組む優良な事例を学ぶために視察研修会を実施しました。参加者からは育苗方法や苦労したことなどの質問が多く挙がり、防虫ネットについては、自分自身のハウスに帰ってから実践できるように、メジャーを使って熱心に計測していました。また、夏の栽培管理等についても、活発な意見交換がされました。

今後も農業事務所では農業者の課題解決を支援し、産地振興に取り組んでいきます。



育苗方法を学ぶ参加者



天窓の防虫ネットを計測する様子